

2022年9月26日
SCSK株式会社

日本発の「空飛ぶクルマ」を開発する株式会社 SkyDrive への出資について

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、株式会社 SkyDrive(本社:愛知県豊田市、代表取締役 CEO:福澤知浩、以下「SkyDrive」)の行う第三者割当増資を引き受け、出資を行いました。また、グループ会社の株式会社ベリサーブも2020年8月に第三者割当増資による出資を行っており、グループとして新たなモビリティ社会の創造に貢献してまいります。

1. 背景

「空飛ぶクルマ」^{*1}の開発が世界中で加速する中、日本国内においても政府主導の元で2018年から「空の移動革命に向けた官民協議会」が開催されており、ヒト・モノの新しい移動手段として、また物流分野やインフラ点検分野における新しいソリューションとして注目されています。さらに2022年3月18日公開の「空の移動革命に向けたロードマップ」によると、2025年の大阪・関西万博での商用運航を皮切りとし、2020年代後半から2030年にかけて商用での運航の拡大や都市部での荷物輸送、MaaS など新たなビジネスへの波及等が言及されており、

2. 目的・今後の取り組み

SCSKは1980年代より車載システム開発に取り組んでおり、車載システム(カーエレクトロニクス領域)において、多くの開発実績を有しています。SkyDriveとの開発においても、「空飛ぶクルマ」「物流ドローン」^{*2}双方の開発を2020年7月より支援しております。車載システム開発で培った技術および知見をSkyDriveが開発する「空飛ぶクルマ」「物流ドローン」に活用し、例えば地方物流問題の解消に向けて、ドローンの遠隔操縦・自動配送によるサステナブルなラストワンマイル物流の実現など、日常の移動に空を活用するといった社会課題の解決に貢献します。

SCSKは、中期経営計画の基本戦略の一つである「DX事業化」の実現に向けて取り組んでいます。4つの重点領域の一つに「モビリティ」を設定し、事業の創出を進めています。今回の出資を機にSkyDriveとの連携をさらに強化し、モビリティサービサーNo.1を目標に、人や地球に優しい安心・安全なモビリティ社会実現に向けて取り組みを進めてまいります。



株式会社 SkyDrive について

株式会社 SkyDrive は、2018 年 7 月に設立、「日常の移動に空を活用する」未来を実現するべく、「空飛ぶクルマ」及び、「物流ドローン」を開発しています。「空飛ぶクルマ」においては、国内での公開有人飛行試験を成功させ、2025 年開催予定の大阪・関西万博でのタクシー運用を見据えて 2 人乗りの機体を開発中。「物流ドローン」においては、30kg の荷物を運搬可能とし、主に山間部の現場ですでにサービス活用が開始されています。

<https://skydrive2020.com/>

SCSK株式会社について

SCSK株式会社は、コンサルティングから、システム開発、検証サービス、IT インフラ構築、IT マネジメント、IT ハード・ソフト販売、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)まで、ビジネスに必要なすべての IT サービスをフルラインアップで提供し、お客様のビジネス価値向上に貢献します。

<https://www.scsk.jp/>

- ※1 正式名称を「電動垂直離着陸型無操縦者航空機」と呼び、「eVTOL」(Electrical Vertical Take-Off and Landing)とも称される。大きな特徴として電動化、完全自律の自動操縦、垂直離着陸が挙げられる。2040 年にはグローバルで 150 兆円の市場規模に達すると予測されている。

出典:「国土交通白書 2020」

<https://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/r01/hakusho/r02/html/n1213000.html>

- ※2 重量物の物流・運搬が可能な産業用ドローン。1 回の飛行で 30kg の重量物を運ぶことができる。

本件に関するお問い合わせ先

【出資に関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

モビリティ事業グループ

モビリティシステム第二事業本部 システム第一部

E-mail: airmobility-info@scsk.jp

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

企画本部 広報部 土岐

TEL:03-5166-1150

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。